

日本システムバンク、大成系と提携 駐車場の直営拡大へ

2024/04/09 05:00 日本経済新聞電子版 841文字

時間貸し駐車場を運営する日本システムバンクはこのほど、大成建設グループの大成有楽不動産販売（東京・中央）と業務提携を結んだ。首都圏で不動産仲介事業を展開する同社から駐車場を運営できる土地やオーナーを紹介してもらい、駐車場運営件数の増加につなげる。直営事業を拡大し、売り上げの底上げを目指す。

日本システムバンクは北陸を中心に全国で駐車場の運営や駐車場向けシステムの販売を手がけている。大成側から駐車場としての活用を検討する不動産所有者に日本システムバンクを紹介してもらい、土地を借り上げるなどして駐車場運営につなげる。

日本システムバンクの谷拓哉経営企画部長は「比較的地方圏の駐車場運営が多い当社でも、東京などの都市部が売り上げをけん引している」と話す。同社は同業他社と比べて都市部の駐車場運営が少ないため、全国で幅広い展開につなげる考え。大成との提携を機に、まず首都圏で件数の拡大を目指す。

日本システムバンクは駐車場オーナー向けに機械などのシステム販売や保守サービスを提供し、事業規模を広げてきた実績もある。同社が関わる駐車場事業のうち、システムを販売した駐車場は約6200件にのぼり、全体の83%を占める。直営の駐車場運営が多いパーク24や三井不動産リアルティとは異なる成長路線を描いてきた。

半面、システム事業は定期的な収入につながりにくく1件当たりの売り上げが大きい直営駐車場の運営は少なかった。近年はQRコードの活用やスマートフォンによる決済など少ない設備投資で時間貸し駐車場を運営する事例も増え、システム販売で得られる単価が低くなる可能性がある。日本システムバンクも今後の成長を見据え、直営事業の強化が必要と判断した。

同社は2023年に名古屋証券取引所に上場したばかり。単純な収益力では自前で所有した土地で駐車場を運営した方が良いが、借り上げ方式なら元手が多くなっても運営件数を増やしやすい。他社との連携で全国幅広い不動産情報を集め、駐車場の直営事業で売り上げの拡大を目指す。



日本システムバンクは時間貸し駐車場「システムパーク」の自社運営を増やして売り上げの拡大を目指す



日本システムバンクは提携を機に、まず首都圏で件数の拡大を目指す

許諾番号30098437 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報(以下「情報」)の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.